

横浜ワークショップ報告

地域へ開くグループリビング—その役割と意義—



基調講演 宮本みち子氏



神奈川県民ホール 会場の様子

2月23日、24日にNPO法人いぶりたすけ愛が主催、NPO法人COCO湘南、グループリビング運営協議会、慶應義塾大学SFC研究所地域協働・ラボが共催、JKA後援（JKA補助事業 お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動）で「横浜ワークショップ」を開催いたしました。1日目は先駆的な住民活動を行っている神奈川県横浜市のドリームハイツのコミュニティカフェ、ふらっとステーション・ドリームとCOCO湘南台の見学説明会、2日目は神奈川県民ホール大会議室でワークショップを行いました。総参加人数86人、1日目54人、2日目70人の参加がありました。北海道から鹿児島まで全国から参加者が集まりました。

ホームページ GLnet のお知らせ

ホームページ GLnet は JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動」で運営しています。先駆的なグループリビングの活動や研究成果を掲載しています。<http://glnet.sfc.keio.ac.jp/>

今月UPの記事

- ・横浜ワークショップ
- ・グループリビング モーニング（社会福祉法人 福島福祉会・福島県）
- ・グループリビング COCO結いのき（NPO法人 結いのき・山形県）等

2月23日（土）第一部 ふらっとステーション・ドリーム

ドリームハイツの「地域でコミュニティカフェが果たす役割について—共に暮らし、支え合うまち」をテーマにNPO法人ふらっとステーション・ドリーム副理事長 島津禮子さんが講演しました。変化する地域の課題や住民のニーズに応じ様々な取り組みを生み出しており、ドリームハイツの住民の地域に対する意識の高さを感じました。



島津禮子氏



ふらっとステーション・ドリームでランチ



ふらっとステーション・ドリーム

第二部 COCO湘南台

次にCOCO湘南台の2階の居間で第2部を開催しました。まず理事長の西條節子氏が「自立と共生について」をテーマに講演しました。次に慶應義塾大学 土井原奈津江氏が「地域へ開くグループリビング—NPO法人COCO湘南の取り組み—」、ワーカーズコープ ホームヘルプ・おり〜ぶ 理事長 青木静恵氏が「ワーカーズコープ・おり〜ぶの取り組み」について講演しました。続いて3班に分かれて見学会を行い、住まいの中や湘南台みんなの輪を見学しました。見学会の後「COCO湘南の仲間と話そう！」をテーマに座談会形式で行いました。参加者から生活者の高橋郁子さん、高坂嘉代子さん、武井キミさんにCOCO湘南台での生活について、多くの質問がありました。見学会終了後、中華街の「彩香」にて、交流会を開催しました。



西條節子氏



土井原奈津江氏



青木静恵氏



COCO湘南生活者との座談会



参加者からの質問



交流会

2月24日（日） 神奈川県民ホール 大会議室

第一部はまずワークショップ主催の星川光子氏の挨拶とグループリビング運営協議会会長の西條節子氏の挨拶がありました。続いて放送大学教養学部教授の宮本みち子氏が基調講演を行いました。テーマは「家族を超えるホーム作り～単身化時代の中で～」でした。新しい住まい作りと仕事の掘り起しとコミュニティづくりは一体的な関係で、福祉政策・労働政策・地域振興策や地域計画とがもっと緊密に結合する必要があることや地域密着型の新しい仕事起しが、社会的孤立化や社会的格差の拡大など、社会的課題の解決にとって役目を果たせるというお話を聞き、グループリビングの可能性について再認識しました。



星川光子氏 挨拶



西條節子氏 挨拶



宮本みち子氏 基調講演

第二部はグループリビングの実践者がパネリストとなり講演を行いました。NPO法人いぶりたすけ愛 星川光子氏、社会福祉法人 福島福祉会 清野恭子氏、NPO法人グループリビング川崎 原眞澄美氏が講演を行いました。その後慶應義塾大学総合政策学部教授 大江守之氏の司会で「地域へ開くグループリビング」をテーマにパネルディスカッションを行いました。各グループリビングの取り組みを知ることが出来ました。



星川光子氏



清野恭子氏



原眞澄美氏

第三部はNPO法人暮らしネット・えんの小島美里氏の司会でグループディスカッションを行いました。10班に分かれ議論し、最後に各班の代表者が発表しました。



パネルディスカッション



小島美里氏



グループディスカッション

アンケート結果

1日目

ふらっとステーション 見学説明会

- ・ NHKのシリーズで各団地の高齢化をとりあげていましたが、ふらっとステーション・ドリームの取り組みに感動しました。
- ・ 自立と共生、地域で暮らすをテーマに2箇所の素晴らしい取り組みを見せて頂きありがとうございました。できない事を補い合い支え合う仕組みを時代に即して変化しながら実践し形にしていくエネルギーに驚き学ぶ事が多々ありました。特にドリームハイツという集合住宅をベースにした多世代を対象とする地域住民の取り組みは、今後の地域への取り組みに生かしていきたいと思います。
- ・ 初めて見学させて頂きました。自立した住民組織が積極的に地域課題解決に関わっている事例として大変参考になるとともに、個人のボランティア精神によるところが大きいため、他の地域で、その地域にあったしくみをつくっていくことの難しさを感じました。“ふらっと”という名称の意味がとても良いと思いました。また居場所、情報、相談相手が欲しいというのは各地で共通の課題だと思いました。
- ・ 幣法人でも週1回ですが、居場所としての簡単なカフェを開いておりますが、定常的なものへと発展させたいと思っております。ボランティアさんへの報酬、運営費等々、ふらっとステーションの運営をよくお聞きしたいです。



COCO湘南台 見学説明会

- ・ オーナーとして参加しました、「私が決める私の暮らし」いいですね。自分の生き方をしっかりと。
- ・ 高齢化=不安のイメージが消えて、楽しく人生を過ごせる希望と喜びを感じました。自分達もこのような生き方を作りあげていきたいと強く思いました。
- ・ 人が住むこと暮らすことをもう一度考える機会になりました。住むことが老いを過ごす所ではなく、創造の場所になっていることを、もう一度自分なりに考え直すことができました。
- ・ すばらしい施設と運営、住居人の方々の自立ということをきちんと理解した生き方に感動しました。「自立と共生」ということを大切に一人一人を尊重して運営している姿にふれ嬉しく思います。
- ・ 小規模多機能を開設しましたが、COCOを見させて頂き、事業者から見たある意味押し着せの施設となっていないか、反省しております。利用者からの提案による棲家、すばらしいですね！



- ・ 市民力・地域力で自分が入居者になりたいような住まいを目指すという志しが素晴らしかった。建物が居心地の良い空間をつくろうという配慮が随所に見受けられました。担い手側のメンバーの高齢化、次の世代の育成ということが、ふらっとステーション・ドリームとも共通の課題だと思います。居住者の方の住まい見学座談会での意見交換など、貴重な時間を頂きありがとうございました

2日目

ワークショップ

- ・ 当初GL、Gハウスの運営はどの様にとという観点で話を聞き始めたのですが、より良いGLを持ってもらうには、サポートするNPOとして何をすべきか、とアプローチの仕方を180° 変更する必要を感じました。今後の住まいのあり方の参考とさせていただきます。
- ・ 講師陣をはじめ、男性のカゲがうすいような気がしました。何故なのでしょう。パワーポイントの字が（配布資料で）もっとみやすいとよかったです。実際に運営されている方のナマの声をきけて、大変参考になりました
- ・ これからGLを作ろうと考えています。理念に賛同し興味を持ちました。実際にNPOをたちあげ運営していく大変さを感じますが、今日のようなワークショップは参考になります。
- ・ 基調講演は大変勉強になりました。今、そして今後の見通しの中で一瞬目の前が真っ暗になる様な絶望感も感じましたが、・されどあきらめず現実を受け入れ柔軟に変化し、つながって助け合っていく新しい人間関係の構築の視点が大切と改めて感じました。今、実際に活動されている取り組みについて具体的な話が聞けて参考になりました。やはり腹をくくって取り組んでいくという姿勢が大切だなあと感じました。
- ・ それぞれ素晴らしいリビングだと思いましたが今度じっくり苦労話も聞ける機会があればありがたいです。立ちふさがる難局をいかに乗り越え成長していくか、継続し続ける事の秘訣も知りたいと思いました。
- ・ 今後 ①入居募集の仕方 ②リーダーの育て方 ③採算の確保の仕方をワークショップに入れて欲しい。
- ・ それぞれ特色のあるグループリビングのお話を聞いて、地域により運営も違ってくるものの宮本先生のお話のとおり、グループリビングが必要とされる土壌は十分、というよりこれから高齢となる人々を救う道と確信しました。自然はたくさんあるけれど人が少ない自分の住む地域で、どのようなリビングができていくのか？ 持ち帰って多くの智恵を巻き込んでいきます。
- ・ 他のグループリビングの取り組みについて聞けて良かった。家族のあり様の変化についても興味深く感じた。老人の事も大切であるが、若い世代からの積み重ねであることが大事だなと思いました。
- ・ 次世代人を育てる事の難しさを再認識した。できる範囲でこれからも活動勉強が必要と考えました。グループディスカッションも他グループの方と知り合え良かった。
- ・ 時間厳守！！パネルディスカッションの質問の内容に対する回答が正確でないのが残念。
- ・ 運営を続ける為には→形を整える。理事の任期を明確にも1つの時期の運営陣を育てる手立てになる
- ・ 考えを整理するうえで、新鮮な話を聴かせていただきました。
- ・ 一日夜の懇親会での雑談はよいものでした。
- ・ 地域にとってGL/GLにとっての地域 考えさせられるよい機会でした。
- ・ 地域への展開として、公的賃貸集合住宅の様々な機能付加のあり方として、講演の方々の事例が大変参考になった。グループリビングが弱いつながりをつなぐ役割を果たせるか、又、若い人々の協力を得るためには、ボランティアではなくjobの提供が必要ではないかと思いました。
- ・ 様々な方にお会いできてよかったです。リビングの入居者の方と参加しましたが、入居者の方の勉強になってよかったです。このワークショップがいつも真冬ですが、季節のよい時の開催を強く希望します。
- ・ これからの社会、急速な高齢化で様々の問題がとりだされている中で、私も老後のこれから、どう暮らしていくのが良いのか、とても勉強になりました。地域密着のコミュニティでずっと生活するために、大切なもの、それはお互いを思いやり、支えあえる精神をもつことが大切なのだと思いました。それを実践しているグループリビング、「自分の居場所があること」「人として生きられること」自立共生の老後組織が大いに盛んとなることを祈っています。

- 宮本先生の基調講演とてもよかったです。改めてこれからの介護や地域づくりについて考えさせられました。
- いつの日かグループリビング的なものを形にできたらいいと思っています。パネルディスカッションもそれぞれの取り組みや思いそして工夫など参考になることがたくさんありました。
- 講演会の現代の若者と家族の形態について改めて実感できることがありました。少しでも共生の形ができるように地域の中でとりくむ必要性を感じました。
- グループリビングをまずしっかり受け止めて、どうそのことをこれから作っていく方向に持っていくか検討したいと思います。又このような機会がありましたら参加したいと思います。
- 宮本みち子氏の基調講演はとても勉強になりました。パネルディスカッション、グループディスカッションは本や報告書を読めばわかるような内容で特に参考になりませんでした。特にグループディスカッションは時間不足で自己紹介で終わってしまう感じで残念でした。
- NPO・社福等の相違や運営者、入居者等の意見大変参考になりました。



*横浜ワークショップの報告書は3月末に発行の予定です。

グループリビング運営協議会 会員募集中

■グループリビング運営協議会 連絡先 土井原奈津江 NPO 法人 COCO 湘南内
 TEL 0466 - 46 - 4976 ・ FAX 0466 - 42 - 5767 (1PM~5PM・平日)
 会員の皆様、ぜひ関係者の方をお誘いください。



編集後記

グループリビング運営協議会が出来て1年になります。会員も徐々に増えてきています。これからさらに活発に情報を発信し、ネットワークを強化していきたいと思っています。ご意見等ありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。(な)

編集委員 星川光子 土井原奈津江 星野友里